



WEEKLY REPORT

ROTARY CLUB OF NAGOYA MIZUHO

2010～2011年度
国際ロータリーのテーマ
地域を育み、大陸をつなぐ
2010～2011年度
RI会長 レイ・クリンギンスミス

創会 立：1980年(昭和55年)1月10日
会幹 長：田中 隆義
事 事：加納 裕
クラブ 会長：梅村 昌孝
例 会 日：毎週木曜日 PM12:30～
会 場：ヒルトン名古屋

事務局：460-0008
名古屋市中区栄1丁目3-3 ヒルトン名古屋910号
TEL：052-211-3803
FAX：052-211-2623
MAIL：2760nagoya@mizuho-rcj.jp
URL：http://www.mizuho-rcj.jp/

第1467回例会

クラブテーマ：「熱田の杜・友愛・気品」

2010年7月22日(木) 晴 第4回

第2回クラブフォーラム
(委員会方針、定款・細則の改定)

司 会：鈴木健司会場委員
斉 唱：「日も風も星も(2番)」「四つのテスト」

会長挨拶

田中隆義会長

こんにちは。「梅雨明け」と同時に猛暑となりましたが皆さんお元気にお過ごしのことと思います。

今日は皆さんご存知と思いますが「土用の丑」についての話をいたします。今年の「土用の丑の日」は7月26日です。

土用とは古代中国で考え出された思想の陰陽五行説の基に割り当てられ、夏だけでなく1年間に4回あります。立春、立夏、立秋、立冬のそれぞれの前18～19日間です。夏の土用は太陽の黄経が117度から135度までと定義されています。今年は7月20日が土用入、8月6日が土用明になります。また「丑の日」は、子丑寅卯…の十二支を1日ごとに割り当てていった日の一つですから、12日ごとに回ってきます。したがって、土用の18日間に、丑の日が1回の年と2回の年があります。2度目の丑の日が「二の丑」で約2年に1回の割合で巡ってきます。今年は7月26日の1日だけです。2008年、2009年は2回ありましたが、来年も2回あります。昨年は7月19日、7月31日で7月に2回あるのは213年ぶりだったそうです。

土用の丑の日に鰻を食べる習慣についての由来には諸説あり、有名なのは皆様ご存知の江戸時代の発明家平賀源内が売れない鰻屋に頼まれCMとして宣伝したと伝えられています。これは文政5年(1822年)に当時の話題を集めた「明和誌」に収められているそうです。それによると源内は「丑の日に『う』の字が附く物を食べると夏負けしない」という民間伝承からヒントを得て「本日丑の日」と書いて店先に貼るように勧めました。すると、物知りとして有名な源内の言うことならとその鰻屋は大変繁盛しました。その後、他の鰻屋もそれを真似するようになり、土用の丑の日に鰻を食べる習慣が定着したとのこと。この民間伝承の根拠からは、鰻だけでなく『う』が附く、うどん、うど、うり、梅干などでもいいこととなります。現代では牛肉でもいいわけですが、丑の日に牛肉を食べようとのキャンペーンは現在も普及していません。ちなみに鰻は夏ばて解消に良いと言われていて、栄養価が高い魚で、蛋白質、脂肪分が多く、ビタミンA、B、D等が多く含まれています。体力増強としてスタミナの必要な夏に適した魚です。土用の丑の日に鰻を食べる習慣は先人たちの生活の知恵だと思います。できましたら「蓬菜



軒」の美味しい鰻を食べていただき、今年も夏ばてしないように頑張っていたきたいと思います。

以上、平賀源内ではなく私が、大変繁盛している「蓬菜軒」を勝手に宣伝して会長挨拶と致します。

出席報告

稲垣 豊出席委員

会員63名 出席50名(出席計算人数50名)

出席率 87.7% 7月15日は補填により 89.7%

ニコボックス

稲垣 豊ニコボックス委員

- 7月15日の会長・幹事慰労会には沢山の会員の皆様にご参集頂き誠にありがとうございました。 増田 盛英さん
- 暑中お見舞い申し上げます。 岩本 成郎さん
- 暑中お見舞い申し上げます。 関谷 俊征さん
- 暑中お見舞い申し上げます。暑さのせいでロータリーバッジを忘れました。 野崎 洋二さん
- 大川さん、会社創立50周年おめでとう。 八木沢幹夫さん
- 今週は長男の誕生日です。 鈴木 淑久さん
- 7月16日は38回目の結婚記念日でした。想えば遠くへ来たものだ。 伊藤 豪さん
- 7月19日は誕生日でした。 渡辺喜代彦さん
- 家内の誕生日に素敵なお花を有難うございました。喜びと共に複雑さも…。 天野 正明さん
- 7月21日は妻の誕生日でした。きれいなお花を有難うございました。 内田 久利さん

幹事報告

- 本日例会後13時40分よりヒルトン名古屋9階「つるの間」にて第1回地区大会実行委員会を開催いたします。
- 次週7月29日(木)18時より「名古屋セントス」において親睦例会を開催いたします。
- 事務局員の澤田さんが9月20日をもって退職されます。本日は後任の太田智子さんをご紹介いたします。よろしくお願い致します。

米山記念奨学会より感謝状贈呈



米山記念奨学会より渡辺喜代彦さんに感謝状が届き、田中会長より授与されました。

委嘱状伝達



米山記念奨学生のカウンセラーを務める西本哲さんに、田中会長より委嘱状が伝達されました。

事務局員太田智子さん挨拶

皆さん初めまして、こんにちは。太田智子と申します。昨日から引継ぎということで、お仕事を澤田さんから教えていただいておりますが、わからないことばかりで大変悪戦苦闘しております。皆さんにご迷惑をかけないように少しでも早く仕事を覚え、お役に立てるよう頑張りたいと思いますので、これからどうぞよろしくお願い致します。



前会長・幹事慰労会

7月15日(木)18時より、前年度、名古屋瑞穂RC発展のため多大なご貢献をされた増田盛英直前会長・高木勝直前幹事の労をねぎらい「蓬莱軒 本店」にて慰労会が行われました。



第2回クラブフォーラム(委員会方針、定款・細則の改定)

議長:田中隆義会長 進行:加納 裕幹事

ただいまより第2回クラブフォーラムを開催致します。会員数63名、出席50名、委任状8名ということで定足数に達しておりますので、このクラブフォーラムは成立致します。

定款・細則の改定:加納 裕幹事

今回、定款と細則につきまして皆さんに審議していただくものが2点ございます。1点目は、クラブ細則の第7条入会金および会費第1節に「また同一企業内で会員が転勤や退職等により退会し新たに後任が入会する場合はその会員退会後1年以内に限り入会金を納めることを要しない。」という文章を追加すること。2点目はクラブの定款のクラブ所在地の記載を「本クラブの所在地域は次の通りとする。名古屋市内ならびに近隣市町村区域」と変更することです。

<会長>ただいまの2点についてご承認いただけましたら拍手をお願いいたします。(拍手)拍手多数により承認されました。ありがとうございました。

改定箇所まとめ:加納 裕幹事

それでは、変更となった箇所をご説明いたします。

まず「直前会長の役職を設ける件」につきましては、7月1日より直前会長を役員及び理事会のメンバーとするということに決定しました。

「出席規定の適用の免除に関する規定を改正する件」については、従来の文章のあとに『このような出席規定の適用の免除は、最長12ヶ月間までとする。』が追加され、期間が限定され明確になりました。そして、一度出席規定の免除を受けた方は以後継続して免除を受けておりましたが、今回の改正により最長12ヶ月間となりました。つまり継続して免除を受ける場合は毎年この申請を行わなくてはなりません。

第9条第3節(b)につきましては、従来の規定に年齢が追加され、『年齢が65歳以上の会員で、かつ、一つまたはいくつかのロータリー・クラブのロータリー歴と会員の年齢の合計が85年以上であり、さらに出席規定の適用を免除されたい希望を、書面をもって、クラブ幹事に通告し、理事会が承認した場合。』となりました。今回の改定により65歳未満の会員ではこの出席免除は受けられないこととなりますので、65歳未満ですでに申請を出され通っている方は適用されなくなります。

「出席記録の算出に関する規定を改正する件」については第9条第5節『出席規定の適用を免除された会員がクラブ例会に出席した場合、その会員と会員の出席は、本クラブの出席率の算出に使う会員数と出席者数に含まれるものとする。』となりました。これにより100%出席ができるようになりました。

「五大奉仕部門を改正する件」については、従来四大奉仕部門であったものに新世代奉仕が加わります。5項目目として『奉仕の第五部門である新世代奉仕は、指導力養成活動、社会奉仕プロジェクトおよび国際奉仕プロジェクトへの参加、世界平和と異文化の理解を深め育む交換プログラムを通じて、青少年ならびに若者によって、好ましい変化がもたらされることを認識するものである。』が追加されました。

クラブ定款・細則は、先程承認いただいた直前会長の箇所が変更となり、それに伴い条と節の番号が変わります。また、会長の任期も変更となります。ご確認ください。

委員会方針

各委員会委員長より委員会方針を発表していただきます。

クラブ奉仕委員会:天野正明委員長

クラブの第一テーマは「魅力あるクラブ運営に努力する」としました。関連委員会との連携を図りながら、充実したクラブライフを皆様に提供したいというのがクラブ奉仕委員会の主旨であります。具体的には、クラブ奉仕委員会を年6回、クラブ奉仕協議会を年2回開催致します。この計8回の委員会を通して連携を深めながら、より良いクラブサービスに努めたいと思います。

出席・ニコボックス委員会:亀井直人委員長

出席委員会につきましては、出席率を高めるため、メイクアップが近づいている方には事務局の方からFAXにて報告をさせていただきます。また出席率が思わしくない方には2ヶ月ごとに声かけをさせていただきます。出席の計算についてですが、今までは休会者は出席免除数に含まれていたものが7月から省かれることになりました。

ニコボックス委員会につきましては、今までは慣例として3,000円単位でご寄付頂いておりましたが、会長方針により3,000円にこだわらず、いろいろな機会に回数をたくさん入れて頂きたいという事ですので宜しくお願いします。

会員増強及び維持・会員選考・職業分類委員会：高木 勝委員長

今年度のスタートは63名でした。来月1日に3名が入会され66名となります。目標を70名とし、会員の皆様のお力添えを持ってなんとか目標に到達するよう頑張っていていきたいと考えています。早速第1回の会員増強委員会を開きますので、そのときに新しい委員の皆様へ改めてお願いし、若い会員を増強していきたいと思えます。

クラブ広報委員会：梅村昌孝委員長

広報と致しましてはウィークリーの発行、特に、わかりやすいウィークリー、読みやすいウィークリーを目指しております。皆様のお色々なご意見を取り入れてより良いウィークリーにしたいと思えますので是非ご協力ください。名古屋瑞穂RCのホームページの改良も致したいと思えます。どんどんご意見お寄せ下さい。また、外に向けての広報と致しまして、中部経済新聞よりコラムの原稿の依頼がきております。ご希望の方ございましたら原稿の寄稿をお願い致します。

親睦活動委員会：入山治樹委員長

今年度の親睦活動の方針は「会員の親睦を図り会員相互のコミュニケーション作りを協力する」としました。特に10回開催される特別例会で会員の皆様方へいかにコミュニケーションをはかり楽しんでいただくかについて知恵を絞ろうと考えております。また、例会時のゲスト・ビジターの受付が役割としてありますが、ビジター紹介のための会長への情報伝達を正確に行うということに心がけていきたいと思えます。また、メイクアップ時の受付を事務局と協力して行います。本日例会前に第1回親睦活動委員会を会長・副会長・幹事・クラブ奉仕委員長出席のもと開催致しました。その際、会長はじめ皆様方のご要望も承りましたのでそれをしっかりと念頭において、楽しい親睦活動をできるように努めていきたいと考えております。

プログラム委員会：八木沢幹夫委員長

今期は上期に新入会員5名のインニエーションスピーチを予定しております。新入会員の方、宜しくお願い致します。また会長からお話があり、何か目玉を作ってほしいとのことでしたので、9月中旬にCOP10の卓話をさせていただけるよう現在事務局と交渉中です。また下期にはボストン美術館の館長にお話していただきたいと考えております。その他、在籍3年未満の会員の方、各委員会の委員長の卓話も予定しています。それが年間27回分となります。今年度の卓話は、会員の融和を図ることが一番のバックグラウンドであると考えております。

ロータリー情報委員会：増田盛英委員長

方針は「会員にロータリーの情報を提供する」です。活動計画は、新入会員の研修会です。今年は7月1日に2名、8月5日に3名とすでに5名の新入会員がおみえですので、早々に開催したいと思えます。その際は3年未満の方も集まってもらい一緒にお受けいただきたいと思えます。9月には開催したいと考えていますのでどうぞ宜しくお願い致します。

会場委員会：岩田修司委員長

会場委員会では基本的に例会をスムーズに行うお手伝いをさせていただきます。食事はおいしいもの、できるだけ皆様のお口に合うものということでヒルトン名古屋の年間スケジュールをいただいて打合せをし、皆様の要望に応じていこうと思えます。また会長のご依頼で、ロータリーソング斉唱の際「四つのテスト」

を必ず歌おうということになりました。各テーブルに四つのテストがありますが、裏にも色々書いてありますのでよくご覧ください。今回、新入会員の方が2名この委員会に配属されました。ご迷惑をおかけするかもしれませんが、慣れるまでしばらく大目に見ていただきたいと思います。

職業奉仕委員会：松岡道弘委員長

田中会長・加納幹事のもと、方針に従い努力したいと思えます。皆様方のご協力をお願い致します。

社会奉仕・環境保全委員会：平野好道委員長

社会奉仕委員会としましては、特別今年新たにすることはございませんので例年通りやっていきたいと思えます。

環境奉仕委員会としましては、今年はCOP10等色々なことがありますので環境について考えるということ、今まではホテルの飼育など継続していける事業がありましたが現在はありせんので、今後何か継続できる事業があるかを検討し、次年度の委員長に引き継ぎたいと考えています。

ロータリーアクト(新世代)委員会：松波恒彦副委員長

ロータリーアクト例会への出席率が非常に悪いということですので、一週間前と前日に出席義務者に事務局からご連絡をさせていただきます。どうしても本人の出席が無理な場合は、ご自分の判断でクラブの他のメンバーに変わっていただけてください。決して、事務局や委員長・副委員長に頼らないようお願い致します。

国際奉仕委員会：市岡正蔵委員長

例年通り台北延平RCとのより良い関係を築くために、文化・習慣・語学等の交流をより深めていきたいと思っております。主な活動計画として、台北延平RCとの交流はもちろんのこと、今年は2つ大きな行事があります。1つは台北延平RC姉妹提携の調印式をここ名古屋で行うことです。もう1つは「ロータリー財団未来の夢計画に参加する」という方針が出ておりますので、それに参加するためウガンダのRCと提携をすることです。これにつきまして会員の皆様のご協力をいただきまして、私も1年間頑張りたいと思っておりますので宜しくお願い致します。

ロータリー財団委員会：長坂邦雄委員長

方針と致しましては「ロータリー財団の主旨を尊重し、活動を理解してもらうための情報を提供する」ということです。これにつきましては8月5日に地区の深谷委員長に卓話をお願いしております。活動計画といたしましては、ポール・ハリス・フェロー、マルチプル・フェローの増員に努める。ベネファクター(恒久基金)の増加に努める。財団奨学生のフォローに努める。また、先ほど国際奉仕委員会でも触れましたが、第2760地区がロータリー財団未来の夢計画のパイロット地区となりましたので、海外(ウガンダ)のRCと提携しグローバル補助金を授与されるよう努力致します。

米山奨学委員会：西本 哲委員長

委員会方針としては例年通りです。ただ、先ほど会長より委嘱状をいただきましたように今年の4月から6月までが渡辺さんが、そして7月から再来年3月までは私がカウンセラーを仰せつかり、米山奨学生の楽怡さんのお世話をすることになっています。楽怡さんは2度ほどこの例会場にもおみえで挨拶もすんでおりますので皆さんご存知かと思えます。名古屋市立大学薬学研究科の修士課程ですので2年間こちらで面倒をみます。皆さんどうぞ協力よろしくお願い致します。

長期ビジョン委員会:野崎洋二委員長

大島浩嗣前々委員長、そして高村博三前委員長に続き私が委員長を仰せつかりました。今までの長期ビジョン委員会の信条を慎重に引き継いでいくよう努力していくつもりです。8月に第1回長期ビジョン委員会を開催いたしますので、その時点で色々ご報告いたします。今後ともご協力をお願いいたします。

地区大会実行委員会:高村博三委員長

従来の地区大会には皆様方もお出掛けになっておられますが、今年の大会は特に良かったと感じられた方はいないように思います。2日間ではあったけれどスムーズな進行で、結果的に時間も短縮できて良かったと評価されることを目指します。また、食事については食堂で…というわけにはいかないのでお弁当になるであろうと思いますが一工夫加えたものにできればと考えています。その他、色々なことがあります皆様のお知恵を借りつつやっていきたいと思っておりますのでご協力お願い致します。

ロータリーワールド

専門職業に就く若年会員を増やすには

全ロータリアンの3分の2が50歳以上です。多くのクラブは、専門職に就く若い人々に入会してもらおうと懸命に取り組んでいますが、このための最も効果的なアプローチとは、一体どのようなものでしょうか。以下にその例をいくつかご紹介します。

家族が参加できる活動

フィリピンのバギオ・サンライズ・ロータリー・クラブは、画期的で楽しい例会を開くことに努めています。元クラブ会長で現在は第3790地区のガバナー補佐を務めるレイ・アベラダさんによると、このクラブでは、新年やハロウィーンといったテーマで例会を開き、家族を招待したり、テーマに合った服装で参加してもらっています。このほか、任天堂の「Wii(ウィー)」など新しいテクノロジーを取り上げた例会も行っています。若い会員の関心に合うよう、例会の計画を担当するのも若い会員たちです。その結果、現在、バギオ・サンライズ・クラブでは会員の半数近くを若い専門職業人が占めています。

クラブの中の「クラブ」

デール・ロバーツさんが23歳でカナダのフェアビュー・ロータリー・クラブに入会したとき、彼と一緒に10人の新会員が入会しました。「同年代の会員が同時期に入会したため、疎外感を感じることはまったくなかった」と話すロバーツさんは、コモックス・ロータリー・クラブの元会長であり、現在は第5020地区(カナダのブリティッシュコロンビア州と米国ワシントン州)のガバナー補佐を務めています。コモックス・クラブの現会長で、元地区会員増強委員長でもあるロバーツさんの妻、モーリーンさんは、クラブの中にクラブをつくることを奨励しています。入会見込者を招いてロータリーについて説明したり、新会員が入会した後は、ロータリー財団などのトピックについて非公式の勉強会を開いています。

地域社会志向のプロジェクト

米国、カリフォルニア州のクパチーノ・ロータリー・クラブは、地元のアジア人の人口を反映する勧誘活動に乗り出し、年間3~12人の純増を達成した、と元クラブ会長で元地区ガバナーでもあるドン・アレンさんは言います。毎年恒例のクラブの募金活動にもアイデアを凝らし、中国の学校やインドの眼科治療のための募金活動をしました。「若い会員が欲しければ、若い人が関心を持つような活動に目を向けること。家族が参加できる活動や、地域社会志向の活動なら、子供や妻・夫と一緒に時間を過ごすことができる」とアレンさんは話します。

ラジオを通じて奉仕活動を紹介するオーストラリアのクラブ

ロータリーに関するラジオ番組を毎週放送する……。多くのクラブ会長にとって、クラブとその活動について人々に伝えるのに、これほど理想的な方法があるでしょうか。

オーストラリアのカンタベリー・ロータリー・クラブ(ビクトリア州)は、クラブ会長であるブライアン・ブルーマーさんが地元ラジオ局で始めたラジオ番組、「Rotary and Community Service(ロータリーと社会奉仕)」を通じて、まさにこれを実現しています。2006年以來、ブルーマーさんは、音楽を交えた2時間にわたるトークショーで、毎週、奉仕プロジェクトを紹介し、ロータリーがどのように人々の生活を改善しているか、また一般の人々がどうやって活動に参加できるかを話題にロータリアンにインタビューを行っています。

熱心に奉仕に打ち込むロータリアンやロータリー家族の人々と話ができるのが醍醐味、と話すブルーマーさん。「一番印象に残っているのは、研究グループ交換で訪問中の海外のチームや、帰国したチームとのインタビューです」

ロータリーをテーマとする独自のラジオ番組づくりに興味のあるクラブのために、ブルーマーさんがいくつかアドバイスをしてくれました。

・**最初はゆっくりと。** まずは月一回の番組として始めるか、既存の番組の中でロータリアンのインタビューを放送してくれるラジオ局を探す。ブルーマーさんも、自分の番組を作りたいとラジオ局に持ちかける前に、ほかのラジオ番組で何度か代役を務めました。

・**訓練を受ける。** 番組づくりは順調に進んでいますが、ラジオ業界のプロではないブルーマーさん。オーストラリア国立放送事業協会が開いているクラスを受講して番組づくりを学び、そこで貴重な経験を積みました。

・**全力を傾ける。** 番組づくりに全力を傾けられる会員またはチームがいることは非常に大切です。ブルーマーさんがクラブ会長となった後は、同じクラブ会員のデイビッド・ブラウドさん、ニール・ウィリアムズさん、ローターアクターのアンディ・リードさんも加わり、交替で月に1回ずつ番組を担当しています。

・**万全な準備を整える。** ゲストに余裕をもって準備してもらい、よいインタビューができるよう、各放送には十分前もって原稿の準備をし、トピックの予定も早くから組んでおくことが重要だと、ブルーマーさんは強調します。人間味あふれる話題を紹介すること、ゲストにオープンエンドの質問をすること、そして聞き手にとって魅力的な選曲をすることが、おもしろい番組を作る秘訣だそうです。



例会のご案内

■今週の行事 7月29日(木) 親睦例会

場 所:名古屋ケントス
時 間:18:00~20:00

■次週の卓話 8月5日(木)

卓話講師:地区R財団委員長 深谷友尋さん
テ マ:ロータリー財団 未来の夢計画

■次々週予定 8月12日(木)

R規定に基づき休会